

## 登別市総合計画第3期基本計画 目標への接近度を図る指標の進捗状況（令和5年度）

平成28年度にスタートした登別市総合計画第3期基本計画（以下「基本計画」という。）では、計画の実現に向けた指標として、数値目標を設定しています。

目標年度である令和7年度の数値に対する現在の実績を把握し、今後の計画推進に役立てるため、次のとおり令和5年度の進捗状況を取りまとめました。

### 1. 評価基準について

令和5年度の効果検証における評価基準は次のとおりとしています。

『達成』・・・実績値が「目標値（令和7年度）」を上回っているもの。  
 『進展』・・・実績値が「目標値（令和7年度）」を下回っているが、基準値を上回っているもの。  
 『継続』・・・実績値が基準値と同程度のもの。  
 『遅延』・・・実績値が基準値を大きく下回っているもの。  
 『評価なし』・・・実績値がないもの。

※新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、コロナ禍以前から回復傾向にあるものの、例年の実績値から大幅に減少しているものがありますが、原則、上記の評価基準に準ずることとする。

### 2. 令和5年度の目標への接近度を図る指標の進捗状況

目標値を上回った『達成』が32項目（29.6%）、目標値は下回っているが、概ね基準値を上回っている『進展』が35項目（32.4%）で、これらを合わせると67項目（62.0%）となり、全体の数値目標のうち6割程度の項目が順調に進んでいます。

しかし、実績値が基準値と同程度の『継続』が0項目（0.0%）、実績値が基準値を大きく下回った『遅延』が30項目（27.8%）となっております。

新型コロナウイルス感染症の影響により『遅延』となっていたものが、5類感染症への移行により、以前の数値に回復している指標もあるため、引き続き、目標達成に向けた取り組みを進めてまいります。

【章ごとの進捗状況】 ※構成比は項目毎に小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

区分	指標数	達成	進展	継続	遅延	評価なし
第1章 やさしさと共生するまち	28	8 (29%)	11 (39%)	0 (0%)	7 (25%)	2 (7%)
第2章 自然とともに暮らすまち	23	7 (30%)	7 (30%)	0 (0%)	7 (30%)	2 (9%)
第3章 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	15	6 (40%)	4 (27%)	0 (0%)	3 (20%)	2 (13%)
第4章 調和の中でふるさとを演出するまち	14	5 (36%)	7 (50%)	0 (0%)	1 (7%)	1 (7%)
第5章 豊かな個性と人間性を育むまち	16	3 (19%)	2 (13%)	0 (0%)	9 (57%)	2 (13%)
第6章 担いあうまちづくり	12	3 (25%)	4 (33%)	0 (0%)	3 (25%)	2 (17%)
合計	108	32 (30%)	35 (32%)	0 (0%)	30 (28%)	11 (10%)

## ◆各章別の進捗状況

<b>第1章</b>	やさしさと共生するまち
<p>28項目中、「ひとり親家庭等自立支援給付事業利用者数」、「健康診査の受診率」、「市が妊婦の身体的・精神的・社会的状況について把握している割合」、「BCG予防接種の接種率」、「救急医療の受入時間」、「歯科救急医療の受入時間」、「救急救命士の人数」、「子育て支援拠点の設置数」の8項目で『達成』となったほか、「小地域ネットワークの参加町内会等の数」、「介護や支援を必要としない自立高齢者の割合」、「相談支援事業所数」、「日中活動系サービス利用者数」、「生活困窮者自立支援法に基づく相談件数」、「特定健康診査の受診率」、「若い世代の健康診査の受診数」、「乳がん検診受診率」、「普通救命講習会（上級コース）の回数」、「女性の審議会や委員会への登用率」、「市内事業所における正規従業員の女性の割合」11項目が『進展』として順調に推移しています。</p> <p>しかし、「子育て世代を対象に「食」を中心としたへるしー親子相談への参加人数」、「大腸がん検診受診率」、「麻しん風しんワクチン予防接種（I期）の接種率」、「児童相談所等への送致児童数」、「新規要保護児童数」、「フォーラム（懇談会・プラタナス含む）、出前講座の参加者人数」、「民間シェルター（DV被害者の緊急避難施設）利用者の市民人数」の7項目については基準値を下回っています。</p> <p>出生数の減少等により、へるしー親子相談への参加者数が減少傾向にあります。幅広くへるしー親子相談への参加を呼びかけるとともに、様々な手法を用いて健康づくりに資する情報発信に努めます。そのほか、がん検診の受診率や予防接種の接種率の向上に向けた受診勧奨等の実施や男女共同参画の理解を深めてもらうためにフォーラムの内容の充実及び啓発活動等に努めます。</p>	
<b>第2章</b>	自然とともに暮らすまち
<p>23項目中、「環境調査における環境基準を超えた項目」、「家庭系ごみの市民1人・1日当たりの排出量」、「最終処分場の年間埋立て量」、「火災発生件数」、「交通事故件数」、「消費生活相談の解決率」、「市内の犯罪発生件数（年間）」の7項目で『達成』となったほか、「事業系ごみの年間排出量」、「不法投棄件数」、「し尿の年間汲み取り量」、「汚水処理人口普及率」、「水洗化率」、「キウシト湿原における観察会等の参加者数」、「消費生活相談件数」の7項目が『進展』として順調に推移しています。</p> <p>しかし、「環境保全活動に取り組む人数」、「環境家計簿の活用に取り組む世帯の割合」、「自然環境学習指導者の人数」、「住宅用火災警報器設置率」、「交通事故死亡者数」、「消費生活展の参加者数」、「無料法律相談利用件数」の7項目については基準値を下回っています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことから、キウシト湿原における観察会等や消費生活展の参加者数は増加傾向にあり、「キウシト湿原における観察会等の参加者数」は基準値を上回るといった結果になっています。</p> <p>消費生活展については、まずは基準値を上回るよう体験コーナー等の充実を図るなど、参加者数の増加に努めます。そのほか、環境保全への意識醸成や自然環境への関心を図るため、関係団体と連携し、環境講演会やリサイクルまつり等の機会を通じた周知活動や住宅用火災警報器の設置周知活動、無料法律相談の利用促進などにも努めます。</p>	

<b>第3章</b>	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
<p>15項目中、「製造品出荷額等」、「法人市民税納付対象企業数」、「起業件数」、「有効求人倍率」、「新規高等学校卒業者管内就職率」、「認定農業者数」の6項目で『達成』となったほか、「市内事業所における正規従業員の女性の割合」、「連泊率」、「ホッキ貝漁場におけるホッキ空貝の残存量」、「登別漁港屋根付岸壁の延長」の4項目が『進展』として順調に推移しています。</p> <p>しかし、「新製品・特産品開発件数」、「観光入込客数（年間）」、「宿泊延数（年間）」の3項目については基準値を下回っています。</p> <p>「新製品・特産品開発件数」については、登別ブランド推奨品の認定件数は横ばいとなっていますが、新製品開発等に対する交付件数が減少しています。この要因として、コロナ禍による営業活動の縮小や人材不足を背景に、事業者のDXに関する取組や人材の育成に重視していることなどが考えられると捉えています。</p> <p>「観光入込客数」等については、基準値を下回りましたが、国内外ともに旅行需要が順調に回復しており、（一社）登別国際観光コンベンション協会等との連携した取組により、コロナ禍前の令和元年度とほぼ同等の数値まで回復しています。</p> <p>事業者が新製品を開発することで、事業者の売上向上や取引市場の拡大に繋がることが期待されるほか、地域経済の活性化が図られるため、引き続き市内事業者に補助金の利活用を促します。そのほか、国内外の観光需要の動向に注視し、関係団体等と連携し、観光の情報発信や誘客促進などの取組に努めます。</p>	
<b>第4章</b>	調和の中でふるさとを演出するまち
<p>14項目中、「地域地区の見直し回数（期間累計）」、「区域区分の見直し回数（期間累計）」、「景観形成に関する情報発信の回数」、「浄水施設の耐震化率」、「市営住宅の戸数」の5項目で『達成』となったほか、「市街化区域の市民一人あたりの都市公園面積」、「長寿命化計画に基づく都市公園における遊具の健全度」、「上水道石綿セメント管の更新」、「バリアフリー化した公営住宅の割合」、「既設橋梁の修繕数」、「市道認定路線延長の改修率」、「幹線道路（都市計画道路：国道及び道道を含む）の整備率」の7項目が『進展』として順調に推移しています。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことから町内会に「公共施設等への草花、樹木の植栽」への参加を呼びかけましたが「公共施設等への草花、樹木の植栽実施町内会数」については基準値を下回っています。</p> <p>各町内会に対して、花苗等を植える場所を含め個別相談を受ける等、市民緑化推進事業の周知に努め、参加する町内会の増加に努めます。</p>	

<p><b>第5章</b></p>	<p>豊かな個性と人間性を育むまち</p>
<p>16項目中、「地域学校協働本部におけるボランティア登録者数」、「児童・生徒のボランティア活動、または地域活動に取り組んでいる学校の割合」、「児童生徒の街頭指導件数」の3項目で『達成』となったほか、「文化振興事業への参加者数」、「国、道及び市が指定・登録する文化財の数」の2項目で『進展』として順調に推移しています。</p> <p>しかし、「生涯学習事業への参加者数」、「図書館を利用した市民の割合」、「習熟度別指導実施校の割合」、「不登校児童生徒の割合」、「部活動加入生徒の割合」、「一斉学校公開日の来校者に占める地域住民の割合」、「青少年センターによる巡回回数」、「歴史文化施設の入館者数」、「体育施設の利用者数」の9項目については基準値を下回っています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことにより、各イベントの参加者数や施設の利用者数などが増加傾向にある項目もあります。一方、小学校において教科担任制の導入による「専科指導」の推進や学校部活動の地域移行の推進等、社会情勢の変化により基準値を下回る項目があります。</p> <p>引き続き、各イベントの参加者数や施設の入場者数の増加に向け、関係団体等と連携を図りながら文化・スポーツの振興に向けた取組の推進に努めます。そのほか、子どもの変化や状況をしっかりと把握し、児童生徒の抱える問題に対して、各学校やスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、心の相談員等と連携し、組織的な対策を行うとともに、不登校児童生徒に対しては、ICTを活用した学習支援や児童生徒の状況把握を行い、課題解決に努めていきます。</p>	
<p><b>第6章</b></p>	<p>担いあうまちづくり</p>
<p>12項目中、「地区懇談会等開催回数」、「のぼりん通信による周知回数」、「国際理解講座の参加者数」の3項目で『達成』となったほか、「市民自治推進委員会開催回数」、「登別市市民活動センター利用団体登録数」、「姉妹都市等（四五都市を含む）との都市間交流人数」、「移住ワンストップ窓口への相談者数」の4項目で『進展』として順調に推移しています。</p> <p>しかし、「協働のまちづくりセミナー、研修会の開催」、「ちょっと暮らし利用者数」、「自己啓発研修の回数」の3項目については基準値を下回っています。</p> <p>「ちょっと暮らし利用者数」は基準値を下回っていますが、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、本市への移住相談や移住体験（ちょっと暮らし）を希望する方が増加しています。現在、移住体験受入施設を新たに設ける等の受入環境を整えているため、引き続き地域おこし協力隊と連携し、本市の魅力を発信するとともに、移住体験（ちょっと暮らし）に繋げていきます。そのほか、本市の職員が自己啓発研修を利用するよう、周知回数を増やし、利用者の増加に努めます。</p>	